

令和 2年度予算見積調書

課室名: 改革推進課

担当名: AI推進担当

内線: 2442

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B8	AI・RPA等による業務効率化推進事業		一般会計	総務費	総務管理費	人事管理費	行政改革推進費	
事業期間	平成30年度～	根拠法令	なし		宣言項目			
					分野施策			
1	事業概要		5 事業説明					
	AI等新技術の導入により、業務効率化、生産性向上を図り、職員が政策立案に集中する時間の確保や、ベテラン職員のノウハウや知識の継承等を目指す。		(1) 事業内容					
	(1) RPA技術による事務の自動化		ア RPA技術による事務の自動化 108,465千円					
	(2) 音声認識技術による音声テキスト化		イ 音声認識技術による音声テキスト化 7,471千円					
	(3) 業務アシスタント導入事業		ウ 業務アシスタント導入事業 30,660千円					
	(4) ヘルプデスクAI推進事業		エ ヘルプデスクAI推進事業 14,696千円					
	(5) スマート県庁推進事業		オ スマート県庁推進事業 780千円					
2	事業主体及び負担区分 (県10/10)		(2) 事業計画					
			ア 既に作成したRPAシナリオについて、着実な運用を図る。また、地域機関を含め、全庁を対象に新たなRPAシナリオの作成を進め、RPA導入業務を拡大していく。					
			イ 導入済の議事録作成支援サービスの利用を全庁に拡大し、審議会や各種会議等における積極的な活用を図っていく。					
			ウ AI等の技術を活用し、業務に必要なナレッジの蓄積や高度な検索機能を備えるシステムを構築する。					
			エ 職員向け問合せ自動応答システム(ヘルプデスクAI)の運用、業務拡大を行う。					
			オ 県及び県内市町村におけるAI等先進技術を活用したスマート化を推進するため、庁内職員に向けた先進技術に関する説明会や、市町村が先進技術を学ぶことができる会議等を開催する。					
3	地方財政措置の状況 なし		(3) 事業効果					
			ア 定型的な事務に要する時間を削減することで、時間外勤務や委託経費を削減することができる。					
			イ 議事録作成支援サービスを活用することで、書き起こし等の単純作業に要する時間を削減することができ、職員が政策立案等の業務に集中する時間の確保が可能となる。					
			ウ 業務に関する情報の一元化等により、スムーズな情報検索や属人化の防止が可能となる。また、人事異動時等の引継ぎやベテラン職員の知識の継承などに活用することができる。					
			エ 時間外でも常時間合せが可能となり、職員の利便性向上、有人ヘルプデスクの負荷軽減が図られる。					
			オ 業務の効率化や県民サービスの向上、産業振興が図られる。					
4	事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2人=19,000千円							
予算額			財源内訳				一般財源	前年との対比
決定額	162,072						162,072	114,580
前年額	47,492						47,492	